



中野立教会
ニュース

サンプラザ 110

✿ Nakano Rikkyo Alumni Club ✿

発行日:2021年10月吉日
杉並区宮前3-15-4
三木原庸夫 方
編集:菊池高彦

このたびの新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、感染拡大により生活に影響を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。
この新型コロナウイルス感染拡大の一日も早い終息を願うと共に、会員皆様の安全とご健康を心よりお祈り申し上げます。

ご挨拶

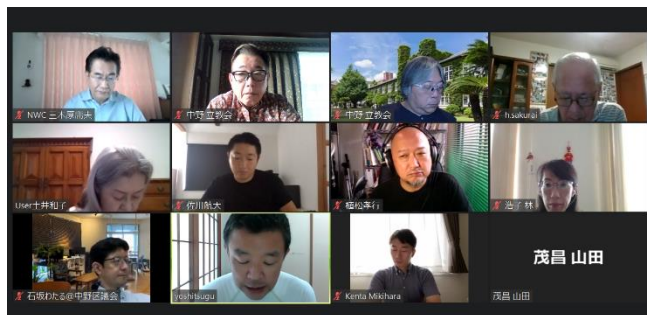
中野立教会会員の皆様、2年目のパンデミックが続く中、お元気でお過ごしでしょうか。

2021年は、東京都において、緊急事態宣言が1月8日から始まり、この9月30日までほぼ継続され、いまだに制限の多い生活を強いられております。国内では、東京オリンピック、パラリンピックがほぼ無観客で開催され、選手達の活躍がひと時の明るい話題となりました。
一方、母校立教学院では、今年は、オンライン(Web)を活用した校友への活動を本格的に立ち上げ、各種イベントは、配信や交流会形式となっております。
中野立教会も同様、今年度は、対面形式を避け、可能な方に参加頂き、8月29日、第39回総会を開催しました。今後もしばらくは、オンラインを活用してまいります。

ワクチン接種完了が、唯一身近な明るい話題ですが、何とかこの長いトンネルを抜けて皆様と集まり、再度お逢いできることを楽しみにしております。

会長:三木原庸夫

第39回中野立教会総会が8月29日オンラインで行われました。その時の様子をご覧ください。





私とオリンピック



東京2020オリンピックまたは前回の東京1964オリンピックへの想いを語っていただきましたので、ここに発表させていただきます。

鈴木英夫さん

金返せ！

コロナ感染症流行の前オリンピックに浮かれていた頃、オリンピック観戦チケットの抽選に幾つか当選し、Web決済しました。

ビーチバレー決勝トーナメント、水球予選、ホッケー予選と大したもののは当たらなかったのですが、総額は5万円を超えたと記憶しています。

オリンピック組織委員会のマイチケットのページを見てもマイチケットに入れない為、今でも何がどうなっているのかの確認が出来ません。

ただ随時準備が整い次第払い戻しのため振込とだけ記述されています。

全く仕事をしないオリンピック組織委員会、「早く金返せ！」



櫻井秀佐さん

身近にいたオリンピック選手です。

2018年中野立教会の旅行で群馬県の丸沼高原にあるペンションに泊まりました。

そのペンションの女将の妹が卓球女子団体を銀メダルに導いた馬場〔旧姓・星野〕美香監督でした。

昔の話ですが我々のスキーチームがこのペンションに泊まっていた時に、

彼女が小学生の頃スキーに来て、話をしたことを覚えています。



保谷光男さん

前回の東京オリンピック1964年の思い出です。

当時私は立川事業所に勤務しておりました。

事業所の近くにある立川市役所が聖火リレーのゴールで、

街道を走るリレー走者を見ることが出来ました。

今のように芸能人が走るわけではなく地味な聖火リレーだったのを覚えてます。

また我が家も東京オリンピックを観戦するためにテレビを購入いたしました。

当時はまだテレビも一般家庭に浸透していなかったのですが、

オリンピックが契機になり購入者が多くなりました。

今でも覚えているのは「東洋の魔女」といわれた日本対ソビエト（ロシア）

バレーボールの優勝決定試合です。

金メダルを賭けての試合は視聴率が85%でスポーツ中継として歴代最高だったそうです。



金澤信之さん

コロナ渦トレーニングあるのみ！

私は3年前から健康維持のために通い始めたスポーツジムで、週4回のペースで朝8時過ぎからお昼近くまで筋トレを中心に汗を流しております。朝食もしっかり食べてからトレーニングに励んでからの昼食は格別に美味しいです。

もちろんプロテインも十分に補給しています。

今回の東京オリンピック女子重量挙げで、最軽量48kgの選手が100kg以上を持ち上げていました。一般の方がベンチプレスで目標とするのは自分の体重です。

改めてアスリートの方の凄さを実感いたしました。

現在、私の体重は55kgでやっと52.5kgまで上げる事ができました。

お陰様で体重8kg減、ウエスト74cmまで細くなり

目指す“細マッチョ”の体型までもう一息です。

何よりもコロナ禍で規則正しい生活習慣を維持することは大事なことです。

今は1日おきの“心地良い筋肉痛”と一緒に生活を楽しんでいきます。



植松孝行さん

TOKYO2020自転車ロードレースが見えたよ！

7月の下旬。恒例の山中湖キャンプへ友達家族と向かいました。

こんなご時世なので、「三密」を回避できるとあってキャンプ場はキャンセル待ちの大人気。

朝に撤収するサイトにも昼前には次のパーティーが到着という具合。

近年の爆発的なキャンプブームで、オートキャンプ場はほとんど最新アウトドアグッズの見本市状態w。

今年はソーラーパネルを持ち込むグループが目立ったかな。でも何に使うんだろう。謎。

冬なら採暖とかありそうだけど。まさかマイクロウェーブとかIHとか使うのか？

気になったのは解禁になったリアキャリア。

今まではナンバープレートが隠蔽されるので違法でしたから興味津々。

たまたま宿泊先の横が自転車ロードレースのコースになっていて、

しっかり感染、いや、観戦できました。ラッキー！

お土産はオーストラリア女子チームの給水ボトルでした。

疫禍厳しき折り、皆様におかれましてはご自愛くださいませ。



花堂彩さん

NEXT ONE

8月8日、57年ぶり2度目の開催となった東京オリンピックが閉幕しました。

過去最大メダル獲得数41個の前回リオデジャネイロオリンピックを大きく上回る

58個のメダルを獲得しました。

メダルを逃した選手の「悔し涙」もまた、見る者の涙を誘うオリンピックの舞台ですが、

そんな中、一人の海外アスリートがSNSや報道番組で話題となりました。

スケートボード女子アスリートフィリピン代表のマージェリン・アルダ・ディダル選手です。

彼女は失敗しても楽しげな笑顔。それも1回や2回ではなく…、

何度失敗しても必ず笑顔で演技を終える。

その姿に…なぜ日本人は魅了されたのでしょうか？

彼女とスケボーとの出会いのきっかけは、母の屋台を手伝っていた12歳の時。

当時母が屋台を出していたのは、スケボー少年が多く集まる公園だったといいます。

ボードを買う余裕もなく寄せ集めの中古ボードで始まったライダー人生。

その才能はみるみる開花し、2018年には早くもアジア大会で「優勝」

今回のオリンピックの決勝戦。自身の技の失敗が続く中でも…前半のランを楽しげに終え、

迎えた後半の着地で惜しくも転倒。

試合後のインタビューで彼女は「スケートボードは人生と同じで、

何度失敗しても立ち上がって進み続けるもの。結果がどうあれ、

私はここにいられることが嬉しいのです。

最高の舞台上、限界へ挑めることがうれしくて仕方ない」

そう言って笑う彼女の姿に、

世界中がハッとしたのではないのでしょうか。

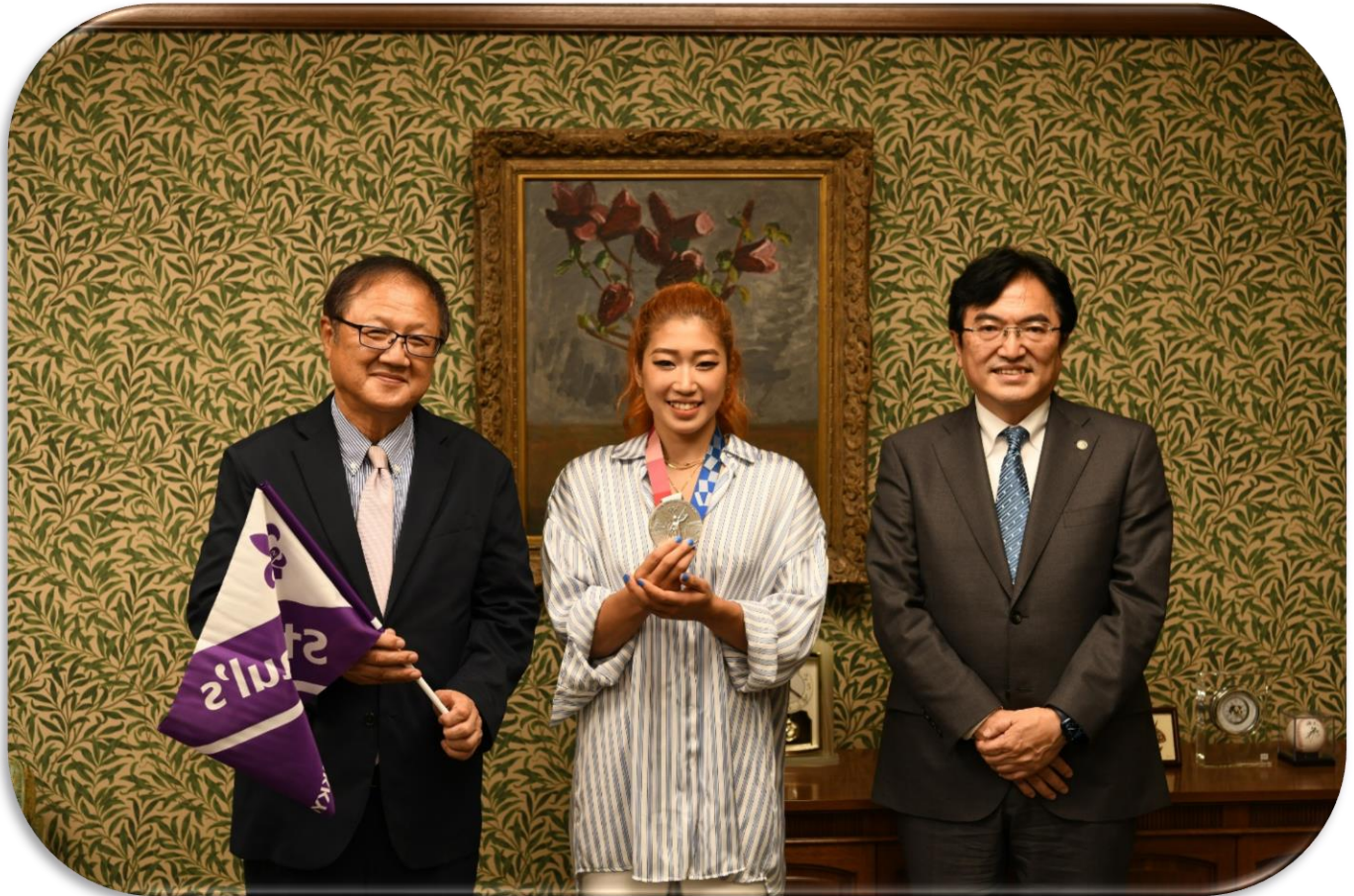
全国的にコロナの収束はまだまだ先が見えない状況ですが、

いつも明るく笑顔で過ごしていきたいと思います。



東京2020オリンピックのスポーツクライミング女子複合で銀メダルに輝いた野中生萌さんが、8月12日（木）、戸井田和彦理事長、西原廉太総長らを表敬訪問しました。野中さんは東京都豊島区出身で現在も同区を拠点として活動していることから、2018年12月に豊島区および本学が連携し、池袋キャンパスにスピードクライミング壁の設置場所を提供しました。戸井田理事長と西原総長は、練習や大会の様子について野中選手と話し、「設置した壁を見るたびに気になっていて、大会はテレビの前でずっと応援していた」（戸井田理事長）、「銀メダル獲得に本当に感激した。今後の活躍にも期待している」（西原総長）などと述べました。

野中さんへのスピード壁の設置場所提供の他に、立教学院はパラリンピックの競泳選手にも池袋キャンパスの施設（ポール・ラッシュ・アスレティックセンター温水プール）を貸し出すなど、世界で活躍する選手をサポートしています。



編集後記

今回のサンブラザで皆様のオリンピックに対する熱い想いを感じることが出来ました。1964年当時6歳の私は国立競技場にある聖火台の炎を観て、感動したのを覚えてます。総会もオンラインで行われるように、このコロナ渦で行事を開催することが出来ません。皆様の一言をサンブラザの作成に使わせていただく事が多くなるかと思ひます。ご面倒でもご協力のほどよろしくお願いいたします。

菊池高彦

【ご案内】
令和3年度、本年の年会費は募りません。

ご質問等ありましたら、中野立教会幹事 武田 圭司 携帯電話080-5009-0971、メールアドレスyoshitsugu@stu.rikkyo.ne.jpまで、ご連絡をお願いします。